

教科名	地理歴史	科目名	世界史研究（3年次）【5単位】	
授業形態	講義形式			
選んでほしい生徒	2年次において世界史Bを履修した生徒で、かつ四年制大学への進学を希望し、世界史Bを受験科目にしようと考えている生徒			
科目の目標	近代以降の世界の歴史を総合的に学習し、問題演習を重ねることにより、大学入試に対応できる力をつけさせる。			
身に付けてほしい学力	1 大学入試センター試験に対応できる学力 2 四年制大学の一般入試に対応できる学力 3 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 ・アジア諸地域の繁栄 ・近代ヨーロッパの成立 ・ヨーロッパ主権国家体制の展開  【2学期】 ・欧米における近代社会の成長 ・欧米における近代国民国家の発展 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義とアジアの民族運動 ・二つの世界大戦  【3学期】 ・冷戦と第三世界の自立 ・現代の世界		・アジア諸帝国の興隆と衰退、西ヨーロッパにおける大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の形成と展開について学習する。  ・産業革命、市民革命、ウィーン体制、ヨーロッパの再編、合衆国の発展、アジア諸地域の植民地化、帝国主義の進展と世界分割、二つの世界大戦について学習する。  ・戦後の東西冷戦と第三世界の自立と危機、冷戦解消と世界の多様化について学習する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用 of 技能・表現	知識・理解
	・世界の歴史に対する関心を高め、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとする。	・世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・世界の歴史についての基本的な事象を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 世界史B（2年次）の内容を理解し、知識を定着しておくことが望ましい。少しずつで良いので問題演習を自分で進めていって欲しい。 2 近現代の歴史は、現代社会における様々な出来事と直接関わることが増えてくる。現在、世界各地でおきている様々な出来事にも興味を持とう。			
教材費	教科書・副教材は2年次からの継続使用			
その他	5単位の授業			